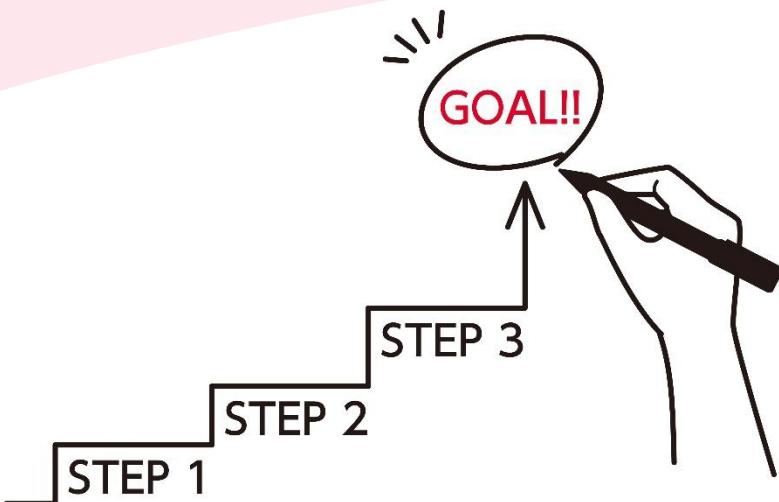


# 見守りライフ導入で 夜間巡回を1時間削減

～介護現場の負担軽減と生産性向上の事例紹介～



トーテックアメニティ株式会社  
見守りライフ推進室



## トーテックアメニティ株式会社

### 所在地

本社  
東京本社  
大阪事業所  
九州事業所  
仙台事業所

愛知県名古屋市西区名駅2-27-8  
東京都新宿区西新宿2-1-1  
大阪府大阪市北区堂島2-1-31  
福岡県福岡市博多区住吉2-2-1  
宮城県仙台市太白区大野田4-6-3

### 代表者

代表取締役  
水野 克己

### 設立

1971年5月20日

### 資本金

1億円

### 社員数

2,912名 (2024年10月末)

### ITソリューション 事業

IT Solution

自治体、学校、図書館、医療、製造、流通、サービス、情報通信、金融など、様々な分野における情報システム構築を支援

### エンジニアリング ソリューション事業

Engineering Solution

自動車、航空機、FAシステム、精密機器など、日本を代表する製造業の技術開発業務を支援

### 検証ソリューション 事業

Validation Solution

第三者検証と開発内部検証のそれぞれで培ったノウハウを活かし、検証者の視点でお客様のモノづくり全般を支援

01

## なぜ見守り機器が必要？

02

## 見守りライフとは？

03

## 見守りライフに任せられること

POINT01 夜間巡回の負担を軽減

POINT02 ベッド上で 体重測定 が可能

POINT03 正確な情報の取得と活用

04

## 導入事例

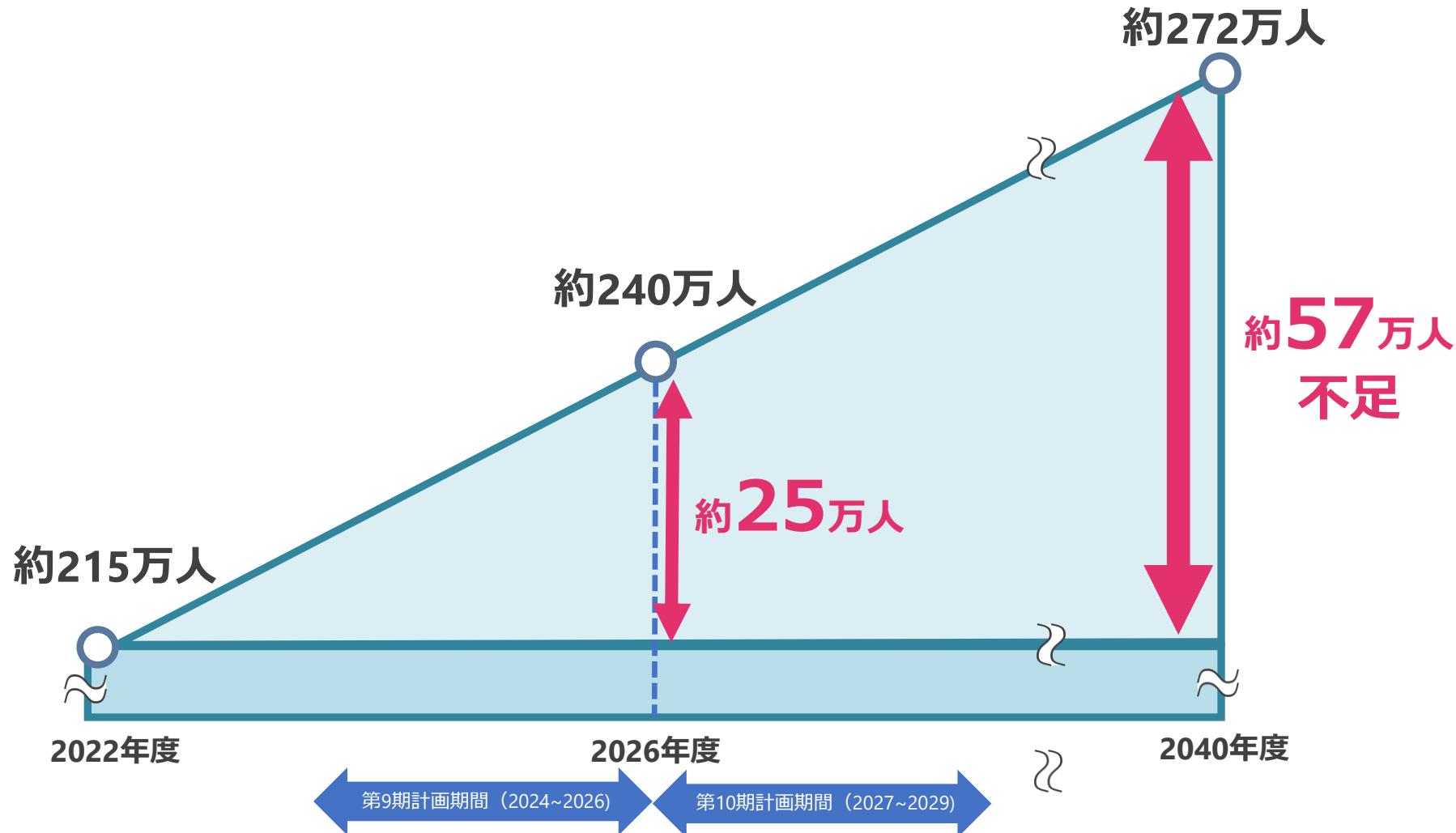
01

## なぜ見守り機器が必要？

### 人材不足の深刻化

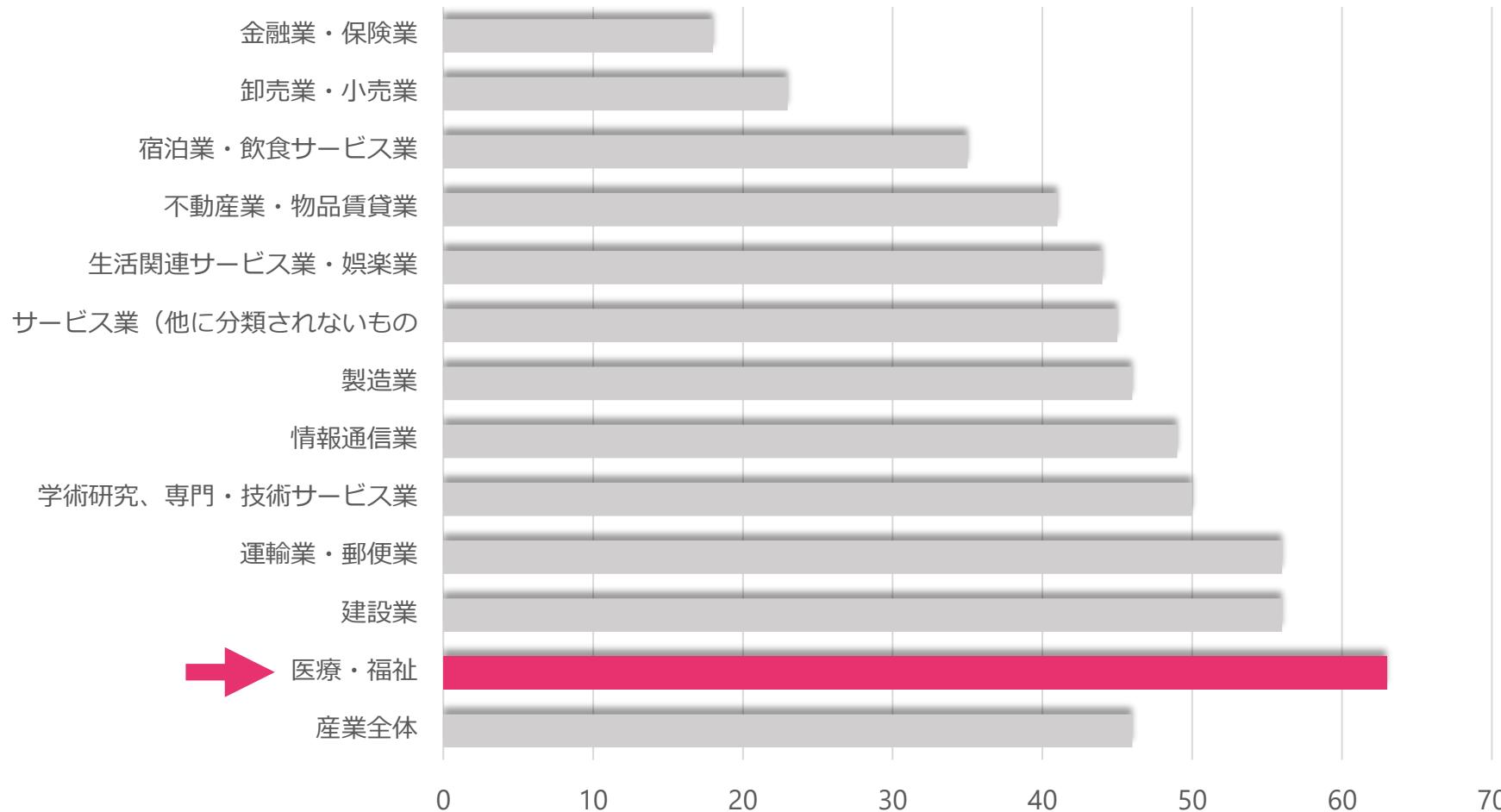


## 需要に対し介護職員数は大きく不足

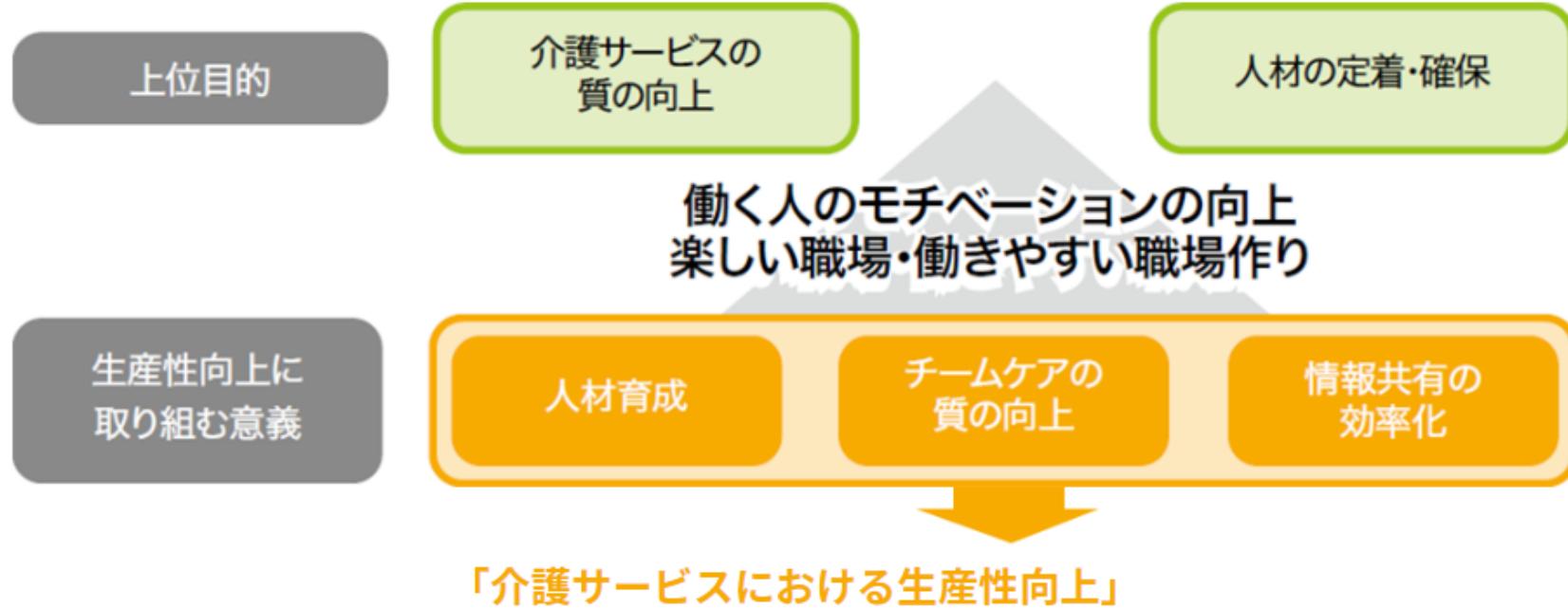


## 「医療・福祉」業界が最も労働者不足を感じている

### 産業別労働者・過不足判断指数の比較



出典：厚生労働省「表5 産業別正社員等労働者過不足状況及び労働者過不足判断 D.I.」  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/keizai/2302/dl/4kekkgaiyo.pdf>



- 要介護者の増加やニーズがより多様化していく中で、業務を見直し、限られた資源（人材など）を用いて一人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける。
- 改善で生まれた時間的有效活用して、利用者に向き合う時間を増やしたり、自分たちで質をどう高めるか考えていくこと。

介護の価値を高める

## 「人」が行うべき業務



ICT活用が不可能ではないが、一定のハードルがある業務

食事介助

移乗

排泄介助

起床・就寝介助

入浴介助

アセスメント

認知症対応

家族対応

医療対応

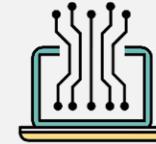
送迎

入退所業務

利用調整

## 見守り・インカム・介護記録ソフト

## 「ICT」に置き換え可能な業務



ICT化により短期的な改善、効率化を実現しやすい業務

記録

情報共有

定時巡回

申し送り

離床検知

モニタリング

排泄誘導

誘導

見守り

多職種連携

# ICT機器の導入で、さらに間接業務の負担を軽減！

## 【新設】生産性向上推進体制加算（I）100単位／月

- (II) の要件を満たし、(II) のデータにより業務改善の取組による成果（※1）が確認されていること。
- 見守り機器等のテクノロジーを複数導入していること。
- 職員間の適切な役割分担(いわゆる介護助手の活用等)の取組等を行っていること。
- 1年以内ごとに1回、業務改善の取組による効果を示すデータの提供（オンラインによる提出）を行うこと。

## 【新設】生産性向上推進体制加算（II）10単位／月

- 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の開催や必要な安全対策を講じた上で、生産性向上ガイドラインに基づいた改善活動を継続的に行っていること。
- 見守り機器等のテクノロジーを1つ以上導入していること。
- 1年以内ごとに1回、業務改善の取組による効果を示すデータの提供（オンラインによる提出）を行うこと。

01

## 見守り機器

02

インカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器

03

介護記録ソフトウェアやスマートフォン等の介護記録の作成の効率化に資するICT機器

## ICT機器

※生産性向上推進体制加算（I）は上記全て使用すること。

その際、見守り機器は全ての居室に設置し、インカム等の機器は全ての介護職員が使用すること。  
なお、見守り機器の運用については、事前に利用者の意向を確認することとし、当該利用者の意向に応じ、機器の使用を停止する等の運用は認められるものであること。

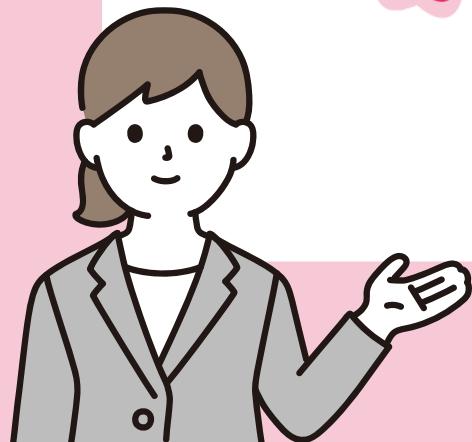
※生産性向上推進体制加算（II）は1つ以上導入すること。

02

## 見守りライフとは？



見守りライフ



荷重分布

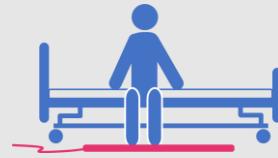
重心位置



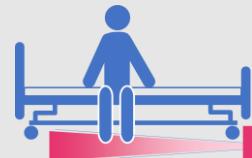
# 見守り機器の種類

## 従来型センサー

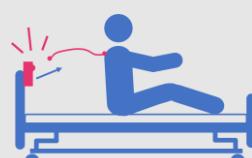
### マットセンサー



### 赤外線センサー



### クリップセンサー

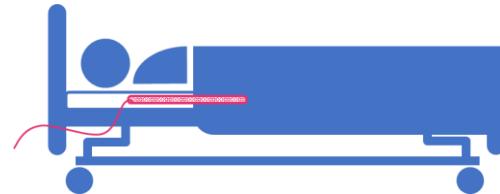


### ベッド柵センサー

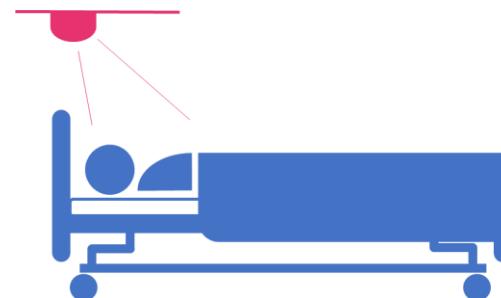


## 見守りセンサー

### バイタルセンサー



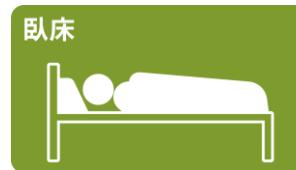
### カメラセンサー



### 荷重センサー



## 状態表示一覧



01

反応速度が速く  
誤報が少ない

02

離床前判定の種類が豊富

03

表示画面が一目で  
誰にでも分かりやすい

## 03 見守りライフに任せられること

---

**POINT01** 夜間巡視の負担を軽減

**POINT02** ベッド上で 体重測定 が可能

**POINT03** 正確な情報の取得と活用

## POINT 01

# 夜間巡回の負担を軽減



## 同時に複数の利用者の見守りが可能に

見守りライフ トーテックアメニティ デモ 3 (システム管理者でログイン中)

2023/08/30 16:27

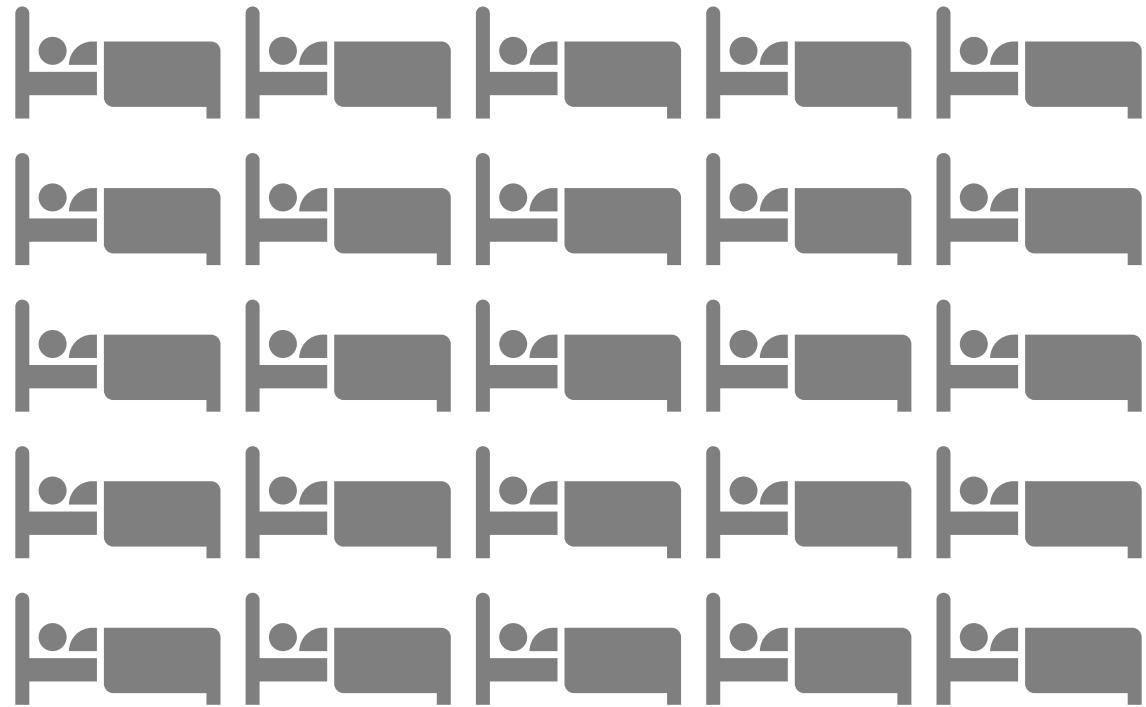
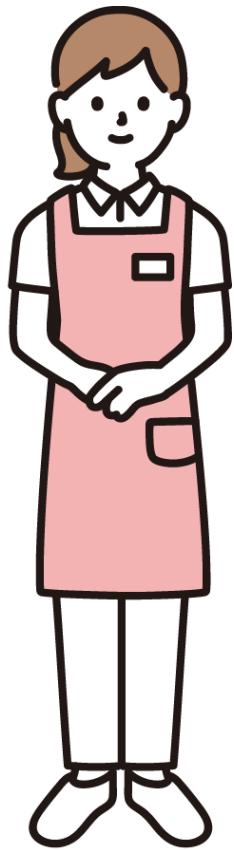
見守りエリア 全エリア

生活リズム アラート 状態表示 センサ情報 各種設定

※表示されているすべての「脈拍」および「呼吸」の数値は参考値です

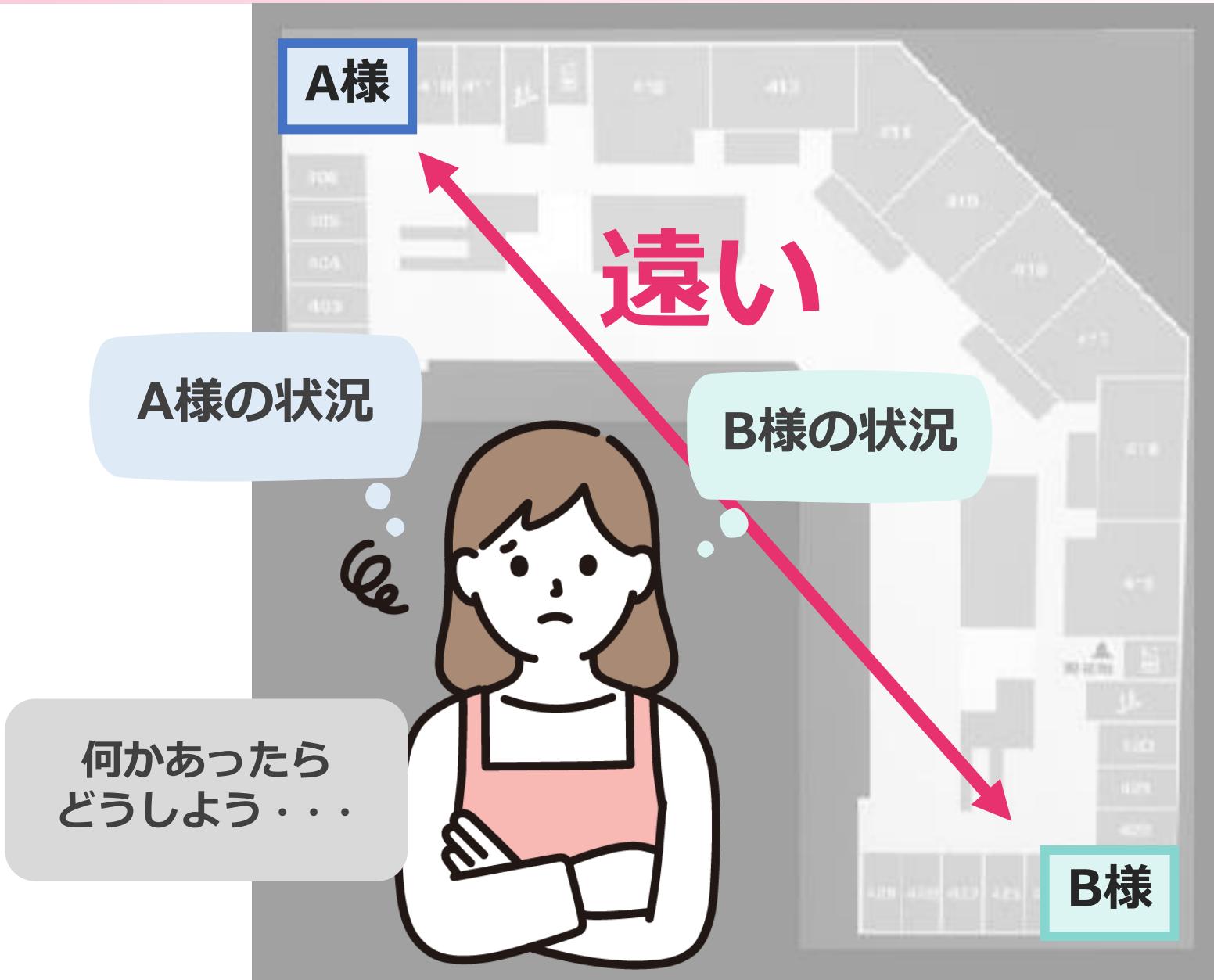
※温湿度通知 ■高温多湿 ■高温 ■多湿 ■乾燥 ■低温 ■低温低湿

ID	利用者名	状態	脈拍	呼吸
101	大阪 太郎 様	離床	22.0	32.1
102	○○ 花子 様	動き出し	49.8	41.8
103	○○ 一郎 様	起き上がり	23.5	38.7
104	○○ 二郎 様	端座位	42.8	38.7
105	○○ 三郎 様	臥床	49.8	63 呼 17
106	○○ 四郎 様	浅い睡眠	49.8	40.0
107	○○ 五郎 様	深い睡眠	49.8	40.0
108	○○ 六郎 様	端座位	23.5	40.0
109	○○ 七郎 様	起き上がり	34.8	43.0
110	○○ 九郎 様	睡眠	49.8	55.0
201	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
202	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
203	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
204	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
205	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
206	○○ ○○ 様	動き出し	47.0	38.7
207	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
208	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
209	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
210	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
211	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
212	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
213	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
214	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
215	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
216	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
217	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
218	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
219	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
220	○○ ○○ 様	動き出し	47.0	38.7
221	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
222	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
223	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
224	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
225	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
226	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
227	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
228	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
229	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
230	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
231	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
232	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
233	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
234	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
235	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
236	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
237	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0
238	○○ ○○ 様	深い睡眠	49.8	40.0

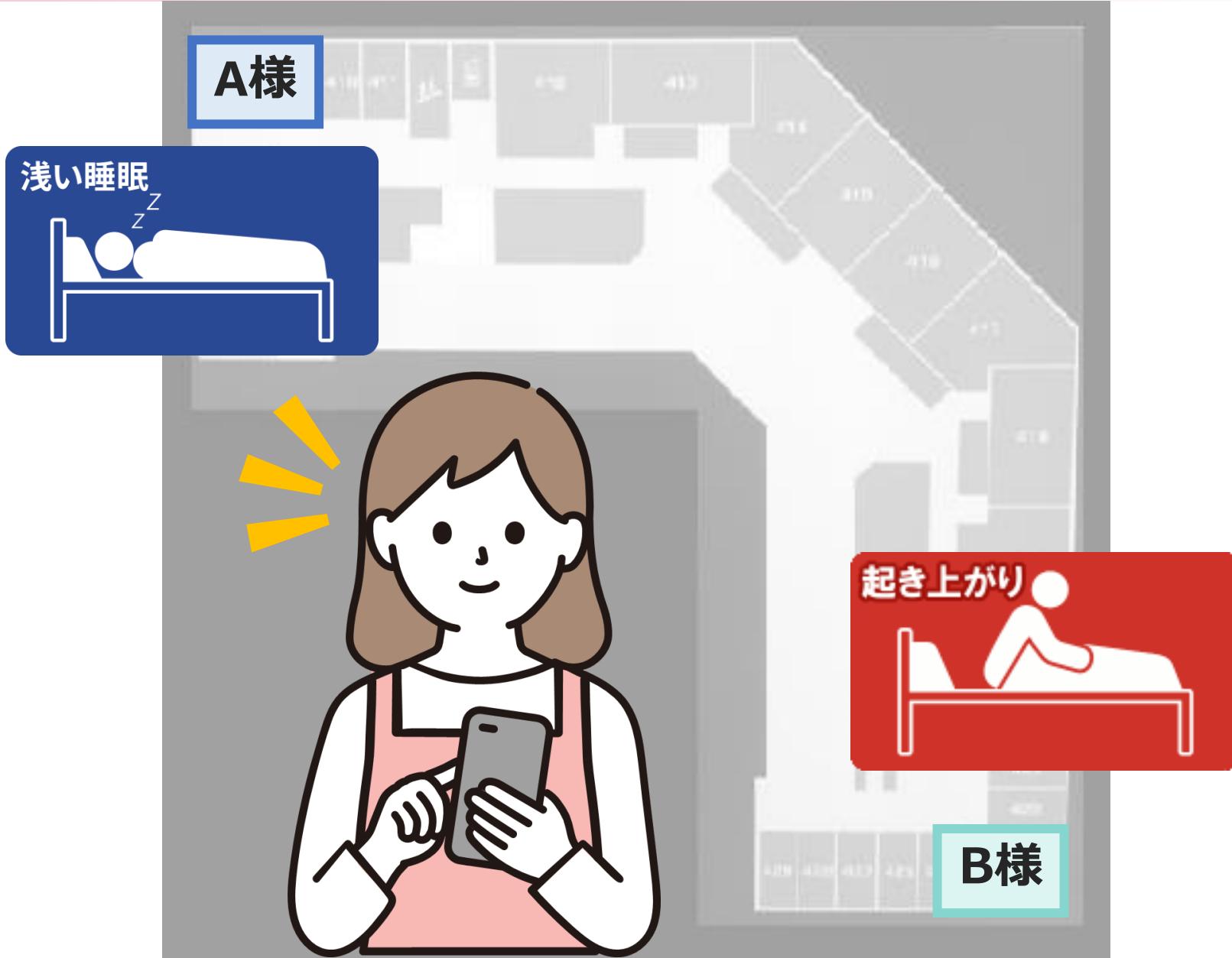


職員1名で20~25名を見守る

## 居室の状況がわからないから不安感



# 居室の「見える化」で精神的な負担を減少



## 見守りライフ導入前

センサーが鳴る



状況が  
分からず不安…

訪室する

## 見守りライフ導入後

センサーが鳴る



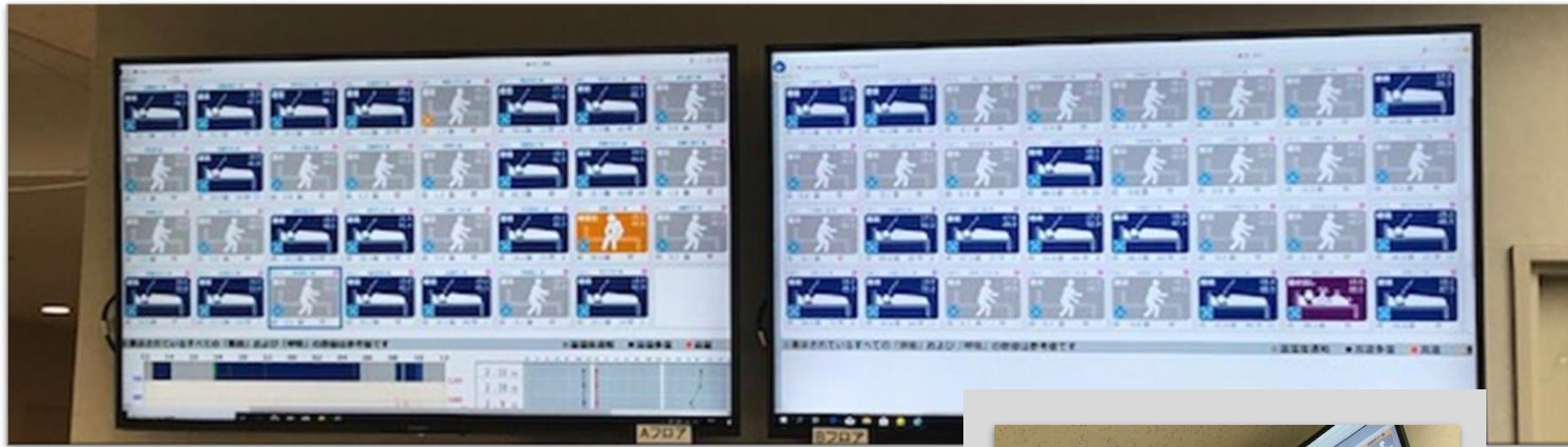
画面で確認



訪室判断

訪室する

# 大型モニター設置で全居室の状態をひと目で把握



詰所の壁に大型モニターを設置

詰所を通るスタッフが  
一目で全体の状態を把握できるように



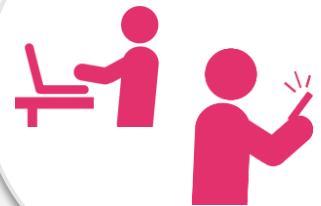
## カメラ機能でさらなる負担軽減と利用者様の安全確保

01



入居者様の  
睡眠の質の向上

02



画面上で  
遠隔巡視が可能に

03



事故の原因検証  
再発防止に

PC・iPad・スマートフォンそれぞれのデバイスで閲覧可能

PC画面



iPad画面



スマート画面



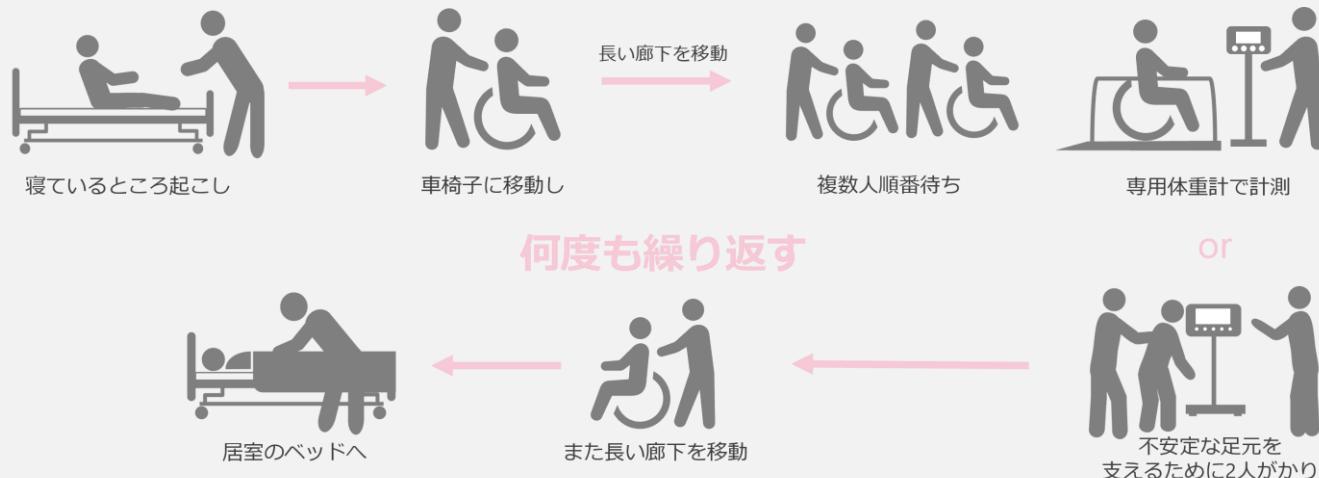
## POINT 02

ベッド上で 体重測定 が可能



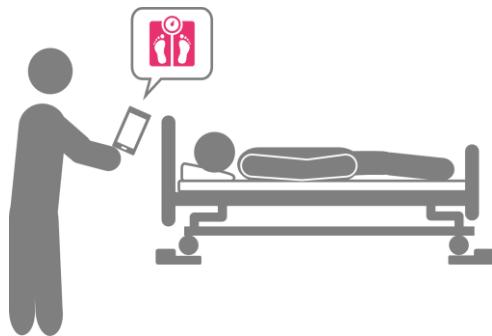
## POINT2：ベッド上で体重測定が可能

### 職員と利用者様の双方に負担と時間がかかる体重測定業務



スマホ1つでいつでも測定可能に

これだけ！



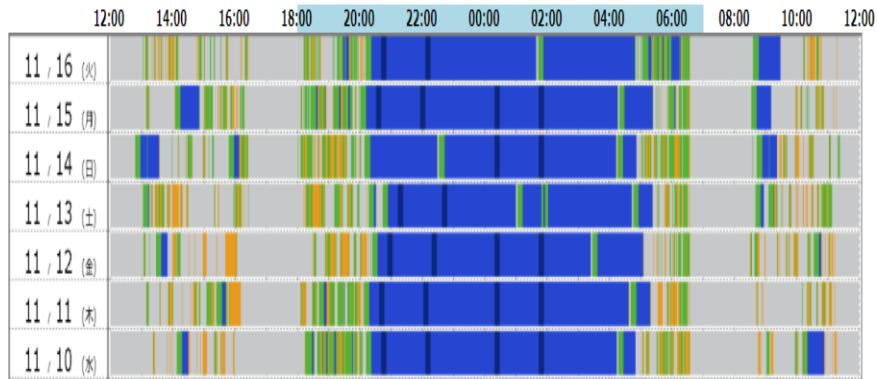
### POINT 03

## 正確な情報の取得と活用



# 見守りライフが取得できる情報

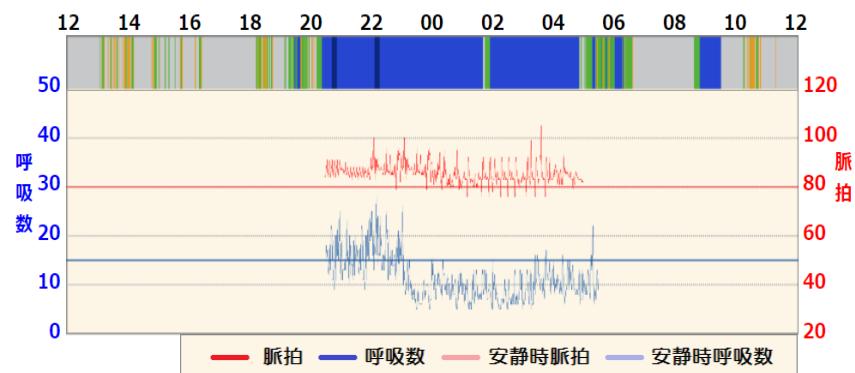
## ＜生活リズムグラフ＞



24時間のベッド上の利用者の状態を1分刻みでプロット。

※最大で5年分の生活リズムを記録可能

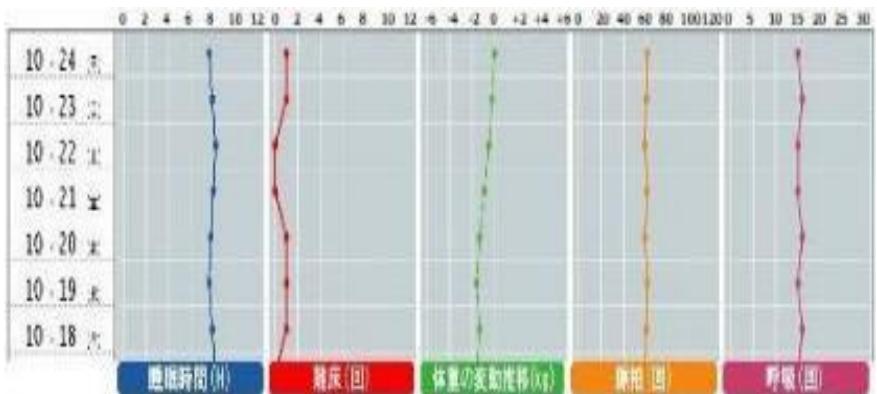
## ＜バイタルグラフ＞



ベッド上の利用者の脈拍・呼吸数を1分刻みでプロット。

※医療行為を目的とした使用はできません

## ＜夜間の体動グラフ＞



夜間帯(18時～翌7時)の睡眠時間/離床回数/体重/脈拍/呼吸数の日々の推移を表示。

## ＜統計データ＞

日付	昼間 (7:00～18:00)				夜間 (18:00～7:00)					
	覚醒時間	睡眠時間		離床回数	離床時間	覚醒時間	睡眠時間		離床回数	離床時間
		浅い睡眠	深い睡眠				浅い睡眠	深い睡眠		
11/16 (火)	1:41	0:28	0:00	34	8:51	2:31	8:49	0:20	23	1:40
11/15 (月)	1:59	1:03	0:00	21	7:58	2:14	9:10	0:40	19	1:36
11/14 (日)	2:12	0:52	0:00	21	7:56	3:22	8:05	0:20	25	1:33
11/13 (土)	2:22	0:06	0:00	29	8:32	2:40	7:57	0:20	19	2:23
11/12 (金)	1:35	0:12	0:00	20	9:13	2:02	8:18	0:40	23	2:40

昼間(7時～18時)と夜間(18時～翌7時)の覚醒時間/睡眠時間/離床回数/離床時間を表示。

# 正確な情報で大きな事故を未然に防ぐ

## 導入前

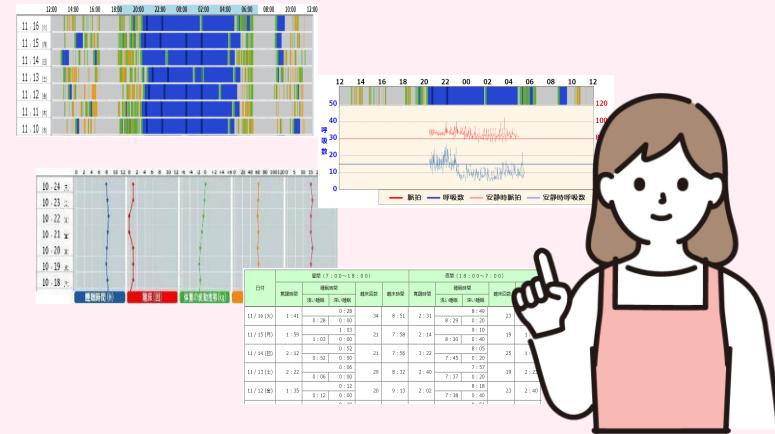
### 本人や家族からの聞き取り



細かな情報を得ることは困難

## 見守りライフ全床導入後

聞き取りでは  
得られない情報を取得可能



行動を先読みすることで

大きな事故低減に

## 介護ソフト連携で入力業務の作業時間を削減



# 見守りライフ

自動転記

- ・記録時間の大幅削減
- ・記録の転記漏れ防止

福祉見聞録<sup>®</sup>.com

ほのぼのNEXT<sup>®</sup>

 HOPE  
HOPE LifeMark-WINCARE

 wiseman



CARE KARTE  
ケアカルテ

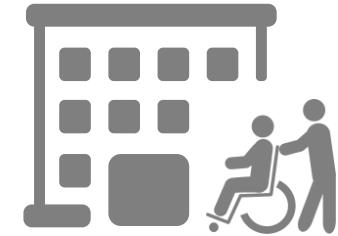
 Blue Ocean System

04

## 導入事例 【埼玉県】

施設形態：特別養護老人ホーム  
定員：50名

①夜間の定期巡回を削減



## 見守りライフの活用で夜間巡回を1日あたり2回削減

アラート通知時にまずは「見守りライフ」の画面を見て利用者様の状況を確認することで、夜間の定期巡回を2回削減。時間にすると一晩あたり1時間、1ヶ月で30時間の削減に相当します。

### 夜間巡回業務

夜勤1日あたり  
1時間の訪室削減

=

1ヶ月あたり  
約30時間の削減



休憩時間の確保

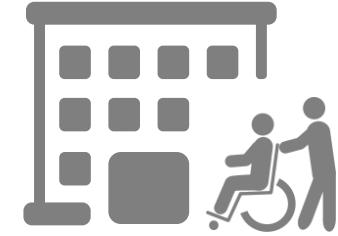
残業の減少

## 04

# 導入事例【千葉県】

施設形態：有料老人ホーム  
定員：100名

- ①訪室回数の削減
- ②歩数変化と移動時間の削減
- ③体重測定時間の削減
- ④利用者様の睡眠時間増加



## 見守りライフの活用で1ヶ月あたり約13時間の削減を実現

安否確認の見守りを「見守りライフ」で行ったところ、一晩あたり約 50 回の訪室削減されました。時間にすると一晩あたり約 25 分、1 か月にすると約 750 分の作業時間の削減に相当します。



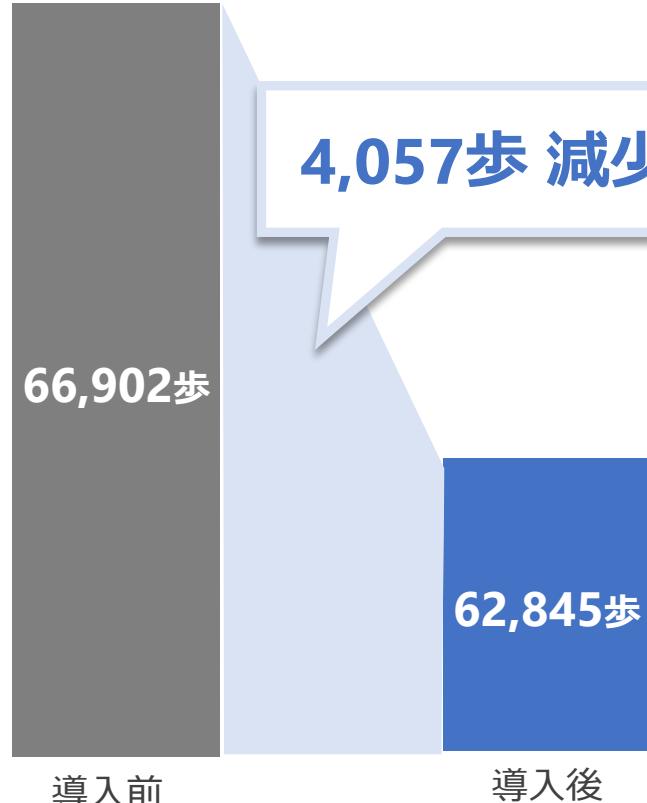
利用者の睡眠時間と睡眠の質の向上

職員の負担の軽減

## 見守りライフの活用で1ヶ月あたり約20時間の削減を実現

見守りライフによる見守りを実施することで、訪室のための移動で一夜勤あたり約4,000歩の減少につながっており、1,000歩=10分で換算すると一夜勤で約40分、1ヶ月にすると約1,200分の移動時間削減を実現していることになります。

### 夜勤職員の歩数変化



### 移動時間

夜勤1日あたり  
約**40分**の削減

1ヶ月あたり  
約**20時間**の削減



## 見守りライフの活用で1ヶ月あたり約2時間30分の削減を実現

安否確認の見守りを「見守りライフ」で行ったところ、1人1回あたりの体重測定時間が約1.5分削減されました。月に1回対象者100名分を実施すると、約2時間30分の作業時間の削減に相当します。

体重測定1回あたり  
1.5分の時間削減

=

体重測定業務時間

1ヶ月(1回)あたり  
約2時間30分の削減

利用者の負担軽減

職員の負担の軽減



## 見守りライフの活用で1ヶ月約35時間、1年17.7日の削減を実現

夜勤の「訪室作業時間」と「移動時間」、体重測定業務を合計すると1ヶ月あたり約35時間、1年あたり17.7日間の削減になります。例えば、夜間の人員を削減をしたり、日中の人員体制を強化することが可能です。

① 訪室作業時間

1ヶ月あたり  
約**13時間の削減**

② 移動時間

1ヶ月あたり  
約**20時間の削減**

③ 体重測定業務時間

1ヶ月(1回)あたり  
約**2.5時間の削減**

1ヶ月あたり合計

**約35時間30分の削減**

1年あたり合計

**約423.6時間(17.7日間)の削減**

## 見守りライフの活用で職員の身体的・精神的負担軽減を実感

職員を対象にアンケートを実施。夜勤中の業務について負担を感じますかという問い合わせに対し、「とても感じる」が14%減少し、「あまり負担に感じない」が5%増加。夜間もコールやセンサーに追われることで感じる負担も精神的な負担や身体的な負担軽減へ寄与。

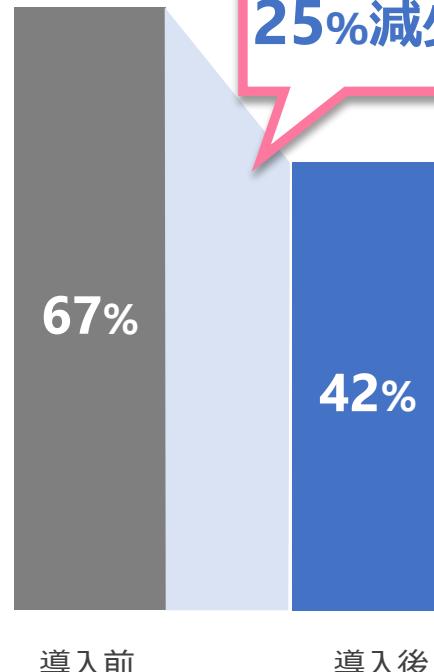
### 夜勤中の業務について 負担を感じますか

夜間コールやセンサー等に  
追われることでの  
**精神的な負担**を感じる

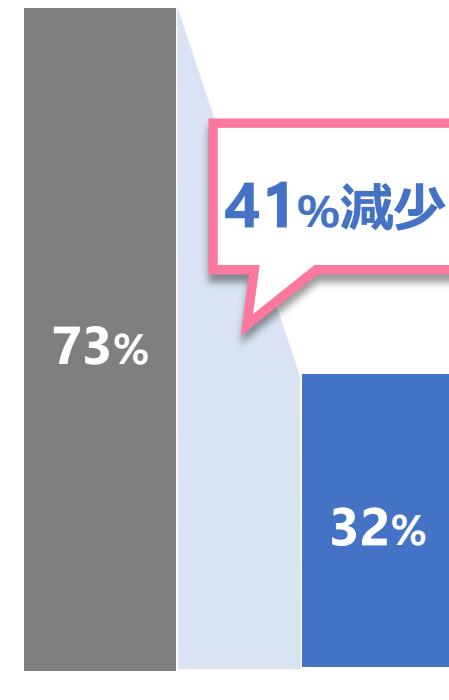
夜間コールやセンサー等に  
追われることでの  
**身体的な負担**を感じる



25%減少



41%減少



導入前

導入後

導入前

導入後

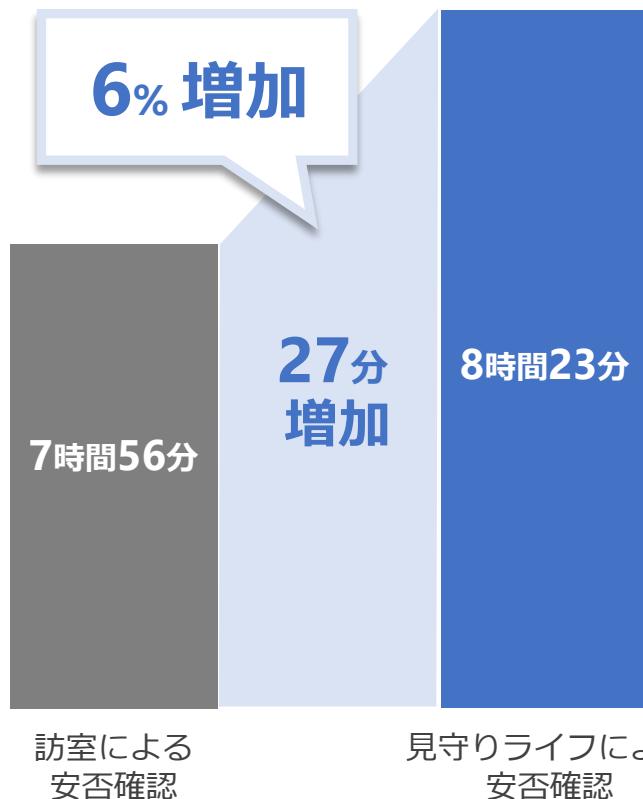
導入前

導入後

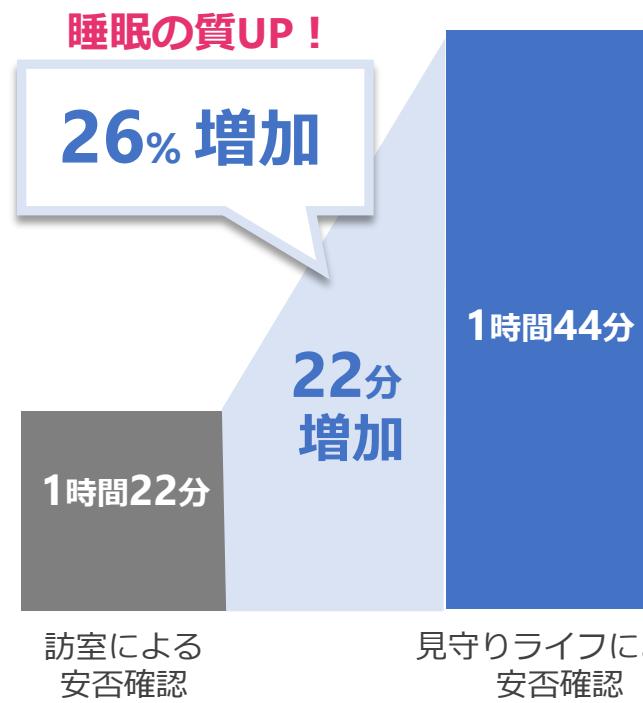
## 見守りライフの活用で総睡眠時間・深い睡眠時間が増加

安否確認が不要となった利用者を対象に安否確認の夜間の訪室を見守りライフで実施。結果、一日あたりの利用者の夜間の睡眠時間は増加し、深い睡眠時間も増加し、睡眠の質の向上に繋がりました。

### 利用者の総睡眠時間の変化



### 深い睡眠時間の変化



POINT  
01

## 夜間巡回の負担を軽減

POINT  
02

## ベッド上で体重測定が可能

POINT  
03

## 正確な情報の取得と活用

入居者の見守り、介護記録の入力、ナースコール、職員同士の通話など、スマートフォン1台ですべての業務が可能となる環境をご提案します



ご清聴ありがとうございました